授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
母性看護学実習	3年次	前期	2	80	有

科目責任者	福原洋子　他
目的	妊産褥婦、および新生児の生理的な変化を理解する。家族の多様性を知り、対象にあった支援のあり方について学ぶ。
目標	1. 妊産褥婦の身体・心理・社会的変化を説明できる。 2. 妊産褥婦とその家族の、親役割獲得過程をアセスメントできる。 3. 新生児の生理的変化および望ましい養育について述べられる。 4. 家族の多様性を知り、支援のあり方を述べられる。 5. 学ぶ者として意欲的に行動し、自己の行動を振り返り、課題を明確にできる。

内容

日	内容
1	学内オリエンテーション（実習目的・目標・方法・展開・施設の概要等） 臨地オリエンテーション
2	学内実習 母性看護技術演習（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）
3	臨地実習 妊娠期実習（妊婦健康診査および助産師による保健指導の見学）
4	臨地実習 妊娠期実習（妊婦健康診査および助産師による保健指導の見学）
5	臨地実習 分娩期実習（分娩期または周産期にある対象の看護）
6	臨地実習 産褥期・新生児期実習（母子を受け持ち、看護展開を行なう）
7	臨地実習 産褥期・新生児期実習（母子を受け持ち、看護展開を行なう）
8	臨地実習 産褥期・新生児期実習（母子を受け持ち、看護展開を行なう）
9	臨地実習 産褥期・新生児期実習（母子を受け持ち、看護展開を行なう）
10	最終カンファレンス　評価面接

履修条件	1・2年次すべての単位を修得していること
評価方法・基準	実習要綱に準ずる